

職場見学

高等部2学年を3つのグループに分けて実施しました。

- 1グループ ワーキングやぶき(就労継続支援A型)
株式会社大協製作所福島工場(企業) (9月8日)



「ワーキングやぶき」では、車の部品のやすりがけを見学させていただきました。作業で行った部品が車のどの箇所に使われているかを知ることにより、仕事への意欲へとつながっていることを学ぶことができました。

「大協製作所」では、安全に作業を行うために声を掛け合って作業を行っていました。また、塗装をするための部品の引っ掛け作業と部品の計量、それぞれの工程の見学をさせていただきました。また、職員の方から時計を意識した時間の管理の大切さと実習を通して自分の適正を知ることが大切であることを卒業生から話を聞くことができました。

生徒達は、作業時は、動きやすい服装や安全を考えた安全靴が必要なことなどを学びました。

○ 2グループ 結工房（就労継続支援B型・生活介護）
甲子の里希望の家（就労継続支援B型）
（5月19日）



「結工房」では、まくらカバーのしわ伸ばしと資源物の選別の作業を見学させていただきました。また、空き缶やペットボトルのリサイクルに取り組んでいて、機械でつぶされた空き缶がたくさんありました。

「甲子の里希望の家」では、袋の紐通しとシールはがし、シーツのしわ伸ばし、メジャー作りの作業を見学させていただきました。

○3グループ 地域生活サポートセンターエル白河(就労継続支援B型)
(5月26日)



「地域生活サポートセンターエル白河」のパン製造部門では、パンを製造している様子を見学させていただきました。パンを製造するにあたり衛生面に気をつけて作業を行わなければならないことを学習しました。

「内職部門」では、ポストイットの頭出しという作業やテープ貼り、ランドセル部品の貼り付けなどの作業を見学させていただきました。ポストイットの頭出しを実際に体験させていただき、全ての枚数を頭出しすることの難しさを実感しました。

*** 見学の機会をいただきました事業所、企業の皆様、
大変ありがとうございました。**